



2021年12月20日

各 位

会社名 株式会社 ステップ
代表者名 代表取締役社長 遠藤 陽介
(コード:9795 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 新井 規彰
(TEL 0466-20-8000)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定されている株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、2021年9月30日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している売買代金については、基準を充たしておりませんでした。

しかしながら、移行基準日時点に未適合であった項目(売買代金)について、本日現在における当社の試算では「適合済」と考えております。

添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおり、企業価値の向上を図り、引き続きプライム市場の上場基準を維持するよう努めてまいります。

別紙「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」

以 上

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

2021年12月20日

StEP 株式会社ステップ

移行基準日時点における東証の適合結果にて、プライム市場上場維持基準に未適合であった売買代金項目については、2021年11月末時点において適合済となっております。

	移行基準日時点での 東証の判定結果		➔	2021年11月末 時点の状況	
売買代金	0.15億円	×		0.22億円 ※	○

- ☑ 当社は2021年9月30日に東京証券取引所にプライム市場選択申請書を提出しております。
- ☑ 当社では既に適合基準を充たしていると考えておりますが、プライム市場上場に向けて、安定的な上場維持基準への適合を目指すと同時に、企業価値の向上に努めてまいります。
- ☑ 売買代金は、2022年以降毎年1月から12月の1日平均で判定されることとなります。今後も注視しながら、必要に応じて施策を検討・実施してまいります。
- ☑ 株主・投資家の皆様との対話の継続、適切な情報開示に努めます。また、積極的なIR活動により企業認知度の向上を目指します。

※2021年1月1日から2021年11月30日までの1日平均売買代金(当社推定値)を記載しております。

当社は、神奈川県藤沢市でスタートした学習塾です。
高校受験、大学受験、個別指導、学童部門を合わせ、2021年9月末現在で
神奈川県内に154スクールを展開しています。

2021/9月末現在 154校体制

112スクール



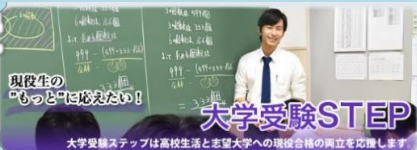
対象学年は小学5年生～中学3年生
学びやすく無理＆無駄の少ない学力別のクラス編成
1クラスの定員は小学生が16名、中学生が20名まで
生徒の目線を大切にした双方向の授業

23スクール



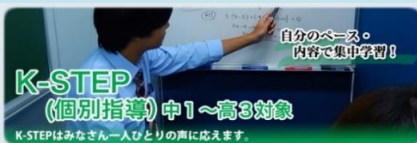
対象学年は小学5年生～中学3年生
知的好奇心旺盛な生徒たちの学習意欲に応える
実力養成を主眼としたオリジナルのカリキュラムによる学習
教科の枠を越えた教養を身につけるHi-STEPオリジナルのハイブリッド授業

15校



対象学年は高校1年生～3年生
教師との距離が近い少人数制授業
現役高校生に合わせて作成されたステップオリジナルのカリキュラム・テキスト
e-STEP(映像授業)で特定の単元を効率良く学習(無料)

1校



大学受験の校舎に併設(対象学年は中学1年生～高校3年生)
教師1名と生徒1名の1対1のコース(教師1名対生徒2名のフレンズコースあり)
生徒一人ひとりの希望に沿ったカリキュラムで学習をサポート
専任スタッフが学習相談や進路面談でサポート

3校



対象学年は小学1年生～4年生(2021年度辻堂教室、茅ヶ崎教室は3年生まで)
安全・安心で楽しく有意義な放課後ライフの実現、知的な成長の場になることを
コンセプトに運営。「STEP探求プログラム」・・・サイエンス、英会話、英語/英検講座、
算数、算数思考、ことば、はば広教養、プログラミング「STEPエンジョイプログラム」
・・・体育・ダンス・将棋・音楽・手話・百人一首ほか「スポーツプログラム」など

現状と課題

高校受験ステップ

2021年春に3スクールを開校し、135スクールの体制となった。川崎市・横浜市に戦略的に注力。スクール網の拡大に伴い、運営体制の強化が課題。満員スクール増え、一部クラス増設も検討。

大学受験ステップ

2021年度の大学入試合格実績で躍進。昨年コロナの影響により生徒募集に影響が出たが、2021年春より回復・伸長してきた。校舎のキャパシティの拡充、人材の確保・育成が課題。

STEPキッズ(学童)

2016年春に湘南教室スタート。2020年春に辻堂、茅ヶ崎教室を開校し、ネットワーク化をスタートさせた。今後の展開に向けて、人材の確保・育成が課題。



高校受験ステップ伊勢原スクール
(2020年3月竣工)



スクール内の様子

☑人材募集・運営体制

- ・Web媒体を活用し、発信力を強化
- ・Webによる面談を積極活用し、神奈川県外からの採用を推進

☑ガバナンス

- ・スクール網が神奈川全域の広範にわたってきており、ガバナンスをより強化
→特にスクール数の多い中学部の運営体制の強化を実施
- ・2022年度から開始となる、いわゆる男性版育児休業の制度に備え、教師・スタッフを質・量ともに増強し、時代のニーズに応じる体制作りを実施

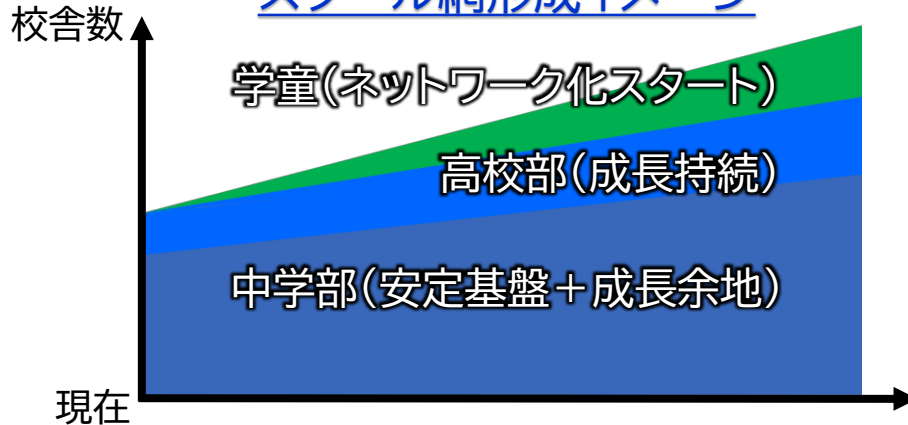
☑今後の成長戦略

- ・人口の多い川崎エリアに注力。横浜市も引き続きスクール網の充実を図る
- ・既存校の増床、移転拡張により充席率の向上を図り、現在満員で入会をお断りしている学年がある校舎は、一部クラス増設をおこなう
- ・STEPキッズ(学童)は次期開校候補地の選定、情報収集を行う

売上高推移



スクール網形成イメージ



現在、川崎などの人口が多いエリアに注力しており、今後の成長余地は十分あると認識しております。

☑ 当社発祥の地である、藤沢市におけるシェア(※)は、現在**24.2%**
(中学生の約4人に1人がステップに通塾)

鎌倉市、海老名市においても20%を超えるシェアを獲得

☑ 県西においては、既に多くの地域で高いシェアを獲得

※各自治体に通う公立中学校の
生徒数に占めるステップ生の割合

神奈川県全体のシェア

21,079 人 (ステップに通う生徒の数)

200,930 人 (公立中学校に通う生徒の数)

県内シェア:**10.5%**

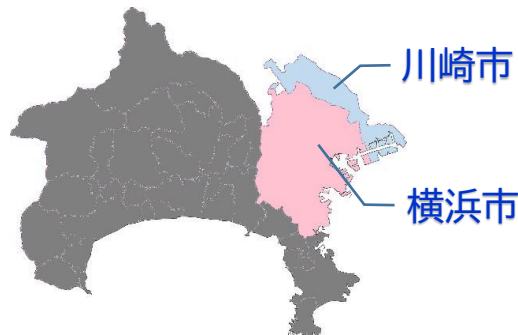
主な自治体のシェア

自治体	公立中に通う 生徒の数(人)	ステップに通う 生徒の数(人)	シェア	自治体	公立中に通う 生徒の数(人)	ステップに通う 生徒の数(人)	シェア
藤沢市	10,779	2,611	24.2%	茅ヶ崎市	6,213	1,056	17.0%
鎌倉市	3,508	775	22.1%	平塚市	6,333	1,034	16.3%
海老名市	3,426	700	20.4%	小田原市	4,290	691	16.1%

※公立中学校に通う生徒の数は2021年5月、ステップに通う生徒の数は2021年9月時点の人数

☑ 神奈川県の公立中学校に通う生徒のうち、
半数超が川崎市・横浜市に集中している

☑ 人口の多い川崎市・横浜市で
シェアを高めていくことが重要



神奈川県全体	公立中学校に通う 生徒の数(人)	全体に占める割合
神奈川県全体	200,930	100.0%
川崎市	29,975	14.9%
横浜市	77,515	38.6%
その他地域	93,440	46.5%

53.5%

川崎市の現状

905 人 (ステップに通う生徒の数)

29,974 人 (公立中学校に通う生徒の数)

川崎市のシェア: 3.0%

- ☑ 川崎市は、1,000人前後の生徒が在籍する規模の大きい中学校が点在するエリア

川崎市



今後の方針<川崎市>

- ☑ 各線沿線の、大規模中学校を含む地域を中心に順次開校していく
- ☑ 北部の小田急沿線、南北に走る南部線沿線に開校していく
2022年春は武蔵中原、武蔵新城、向ヶ丘遊園に開校を予定している

将来的なシェアを15%
とした場合の開校余地
⇒あと22スクール

市立中学校生徒数	29,974人 (2021/05/01現在)
想定生徒数(シェア15%)	4,496人
想定スクール数	30スクール
現在のスクール数	8スクール(中学生905人)
今後の開校余地	22スクール

※1スクールあたりの中学生を150名として計算。
実際にはこれに小学生を加えた人数で運営することになる。
※公立中学校に通う生徒の数は2021年5月、ステップに通う生徒の数は2021年9月時点の人数

横浜市の現状

6,527 人 (ステップに通う生徒の数)

77,515 人 (公立中学校に通う生徒の数)

横浜市のシェア: **8.4%**

- ✓ 横浜市は、近年注力してきた北部地区(青葉区、都筑区)ではシェアが15%に達する一方、鶴見区、中区、南区、金沢区等の東部地区、臨海地区、南部地区ではスクール数が少なく、シェアも低い

横浜市内公立トップ校(全9校)

ステップの合格実績

- ★ 合格者数が全塾中No.1
- ★ 合格者数が第2位または第3位



旧学区トップ校2192名合格!

湘南 204名	横浜翠嵐 136名
厚木 218名	柏陽 170名
川和 105名	希望ヶ丘 144名
横浜緑ヶ丘 97名	小田原 180名
相模原 121名	平塚江南 157名
茅ヶ崎北陵 119名	大和 121名
秦野 141名	横浜国際 36名
神奈川総合 42名	光陵 61名
横須賀 70名	多摩 40名
横浜サイエンスフロンティア 30名	

■ 横浜市内の公立トップ校

今後の方針<横浜市>

- ✓ 横浜市内の公立トップ校の合格実績は、9校中7校で全塾中No.1となっている
実績を更に伸ばし、トップブランドとしての評価をより高めていく
- ✓ スクール数の少ない東部地区・臨海地区・南部地区での開校により、シェア向上を図る

将来的なシェアを15%
とした場合の開校余地
⇒ **あと32スクール**

市立中学校生徒数	77,515人 (2021/05/01現在)
想定生徒数(シェア15%)	11,627人
想定スクール数	78スクール
現在のスクール数	46スクール(中学生6,527人)
今後の開校余地	32スクール

※1スクールあたりの中学生を150名として計算。実際にはこれに小学生を加えた人数で運営することになる。
※公立中学校に通う生徒の数は2021年5月、ステップに通う生徒の数は2021年9月時点の人数

高校部の現状

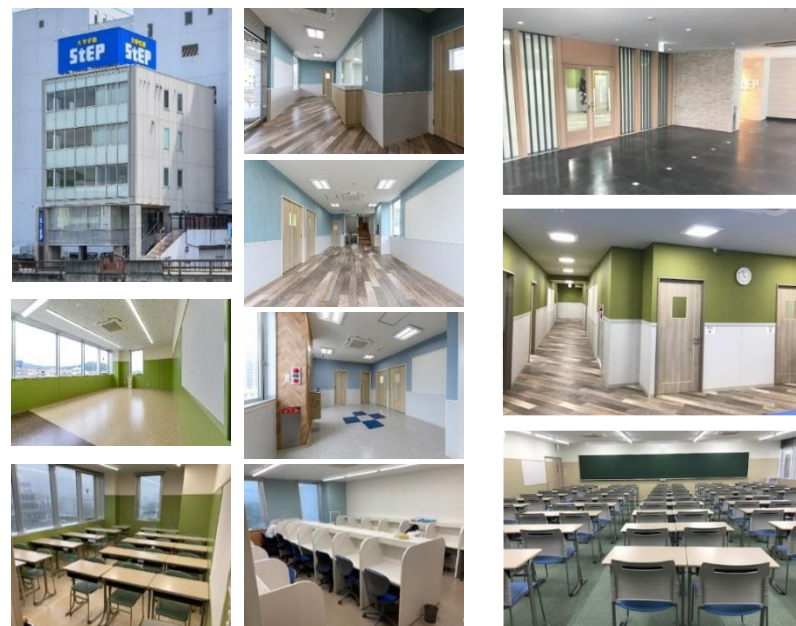
- ✓ 生徒数増加のため、満員の校舎が増えてきており、校舎の拡充(移転拡大)が課題となっている
- ✓ 2021年9月期は、3校舎(藤沢校、横浜校、相模大野校)の増床、1校舎(秦野校)の移転拡大を実施

今後の方針

- ✓ 2022年9月期以降も引き続き、校舎の拡充に努める
- ✓ 中学部のスクール網に沿って開校していく
- ✓ 中長期的には、(自社物件の建築も含めた)大型校舎も模索

2021年12月現在満員の校舎・科目

藤 沢 校	高1国語満席	高3全教科満席			
大 和 校	高2英語満席				
平 塚 校	高2日本史満席	高2物理残席少	高2化学満席	高3全教科満席	
横 浜 校	高1全教科満席	高3全教科満席			
大 船 校	高2化学残席少	高2生物残席少	高3英語残席少		
相 模 大 野 校	高1国語満席				
戸 塚 校	高3英語残席少				
センター南校	高1国語満席	高2英語残席少	高2国語満席	高3英語満席	

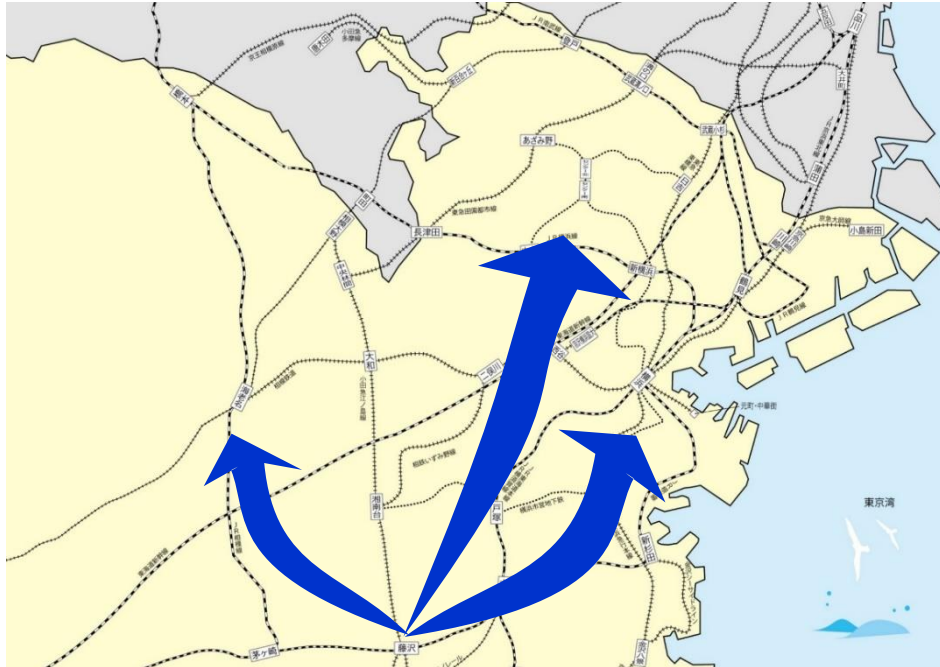


■ 秦野校(移転拡大)

■ 藤沢校2号館(増床)

- ☑引き続き人材の採用・育成に力を入れながら、ノウハウを蓄えていく
- ☑立地条件が合うことを前提に、早ければ2023年春にも新たな教室を開校し、スクール網を広げていく方針

STEPキッズのスクール網(拡大イメージ)



STEPキッズ(湘南教室)

	15:40~16:25	16:35~17:20	17:30~18:15
STEP 探究プログラム	サイエンス	サイエンス	
STEP エンジョイプログラム	サイエンス	サイエンス	
ダンロップ スポーツプログラム	サイエンス	サイエンス	手話 (ベシク)
STEP 探究プログラム	プログラミング	プログラミング	プログラミング
STEP エンジョイプログラム	はば広教養	はば広教養	算数
ダンロップ スポーツプログラム	はば広教養	はば広教養	百人一首 (ベシク)
STEP 探究プログラム	ことば	ことば	英会話
STEP エンジョイプログラム	ダンス (スタンダード)	ダンス (アドバンス)	ダンス (アドバンス)
ダンロップ スポーツプログラム	ダンス (スタンダード)	ダンス (アドバンス)	手話 (アドバンス)
STEP 探究プログラム	英語	英語	算数 (思考)
STEP エンジョイプログラム	英語	英語	音楽
STEP 探究プログラム	ことば	ことば	英会話
STEP エンジョイプログラム	ダンス (ベシク)	ダンス (ベシク)	体育
ダンロップ スポーツプログラム	ダンス (ベシク)	ダンス (ベシク)	将棋 (+α)
STEP 探究プログラム	ダンス (ベシク)	ダンス (ベシク)	将棋 (スタンダード/アドバンス)
ダンロップ スポーツプログラム	ダンス (ベシク)	ダンス (ベシク)	スィミング (14~5級)
STEP 探究プログラム	スィミング (14~5級)	スィミング (14~5級)	空手 (~7級)

小学3年生時間割 (2021年度 湘南教室)

プログラミング(小2~小4対象)



ダンス



はば広教養



サイエンス

